



フォレスターうじ 会報

第276号
令和4年2月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

<https://forester.foresteruji.org>

一月定例活動

桜伐採と植樹場所の選定
活動日 一月十六日(日) 晴
活動時間 九時三十分～十五時三十分
活動場所 天ヶ瀬森林公園
参加者 会員十六名

朝は寒かった(京都最低気温マイナス0.4度)が、陽が昇るにつれ和らいで(最高気温十.六度)、活動に支障ない。

朝礼の冒頭、一月九日宇治上神社での安全祈願祭で授与された御札を小屋に掲げ、一年間の安全を願い拝礼した。

午前中は、フォレスターうじ広場入口の桜の伐採とシイタケ圃場の整備を行なった。

桜は根元から二m近くまで一部が腐り空洞になっていて、以前に二本の支柱を設置したが、これも弱くなってきてこのまま放置すると倒れる恐れがあった。松川参与をリーダーに、ロープを張って大ノコで切ったが、時間がかかった。切り株は直径三十cm、樹高は十五mぐらい。枝払い、玉切りの後、林道脇に積み上げて終わる。久保田さんが細枝を木工の材料にすると、小林副会長が大枝をシイタケのホダ木にするとのこと、それぞれ有効活用ができた。

シイタケ圃場の整備には、小林副会長をリーダーに五名があたった。倒れている支柱と横木を新しく取り換え、番線で補強する。これで約百本のホダ木を置くことができるだろう。

昼食時、藤原さん、谷口さんが豚汁を作ってくれたので美味しく頂いた。

午後は、松川参与以下三名が倉庫の補修とチェンソーの点検修理を行ない、他全員で緑の募金による苗木の植樹場所の選定に向かった。

こもればの道から冒険の道を経て野鳥観察小屋に着く。小屋の前の広場には、かつて桜や実なる木を植えたが、鹿の食害や大雨で流されて、今はピラカンサスが二本残っているだけだ。この場所に再度植樹を検討していくこととした。

来月の活動としては、桜の植樹場所を槇尾山林道の終点にあるトイレの前と憩の広場とした。どんぐりの植樹場所や方法は、樹木の伐採と植樹という森林保全の根幹なので、これから検討していく。

(記 粟津 國雄)



①1/16 桜の伐採作業
②1/16 伐採した桜の切り株
(写真 田中一夫)



1/16 美味しい豚汁を頂きました。

一月特別活動

門松の撤去に係る活動
活動日 一月七日(金) 十時～十一時半 曇
活動場所 宇治市役所正面玄関
参加者 会員七名

宇治市役所正面玄関に設置した門松の撤去を行なった。所管の管財課中田課長に感想を尋ねたところ、門松の前で市民が記念写真を撮る姿があったとのこと。これから毎年市役所に門松のお飾りができたら本会の広報になると思う。印刷日と重なったが、参加の皆さんお疲れ様でした。

(記 実行委員長 深田 和夫)

一月特別活動

令和四年 安全祈願
参拝日 一月九日(日) 十時二十分～十一時
参拝神社 世界文化遺産宇治上神社 晴
参拝者 会員十二名

寒の入りを迎えた日曜日であったが、日差しが暖かい境内に会員十二名が集まり、新年の挨拶を交わし順番がきたので昇殿。神主の祝詞奏上、会を代表して深田会長が玉串を奉奠し、今年一年の安全とコロナ禍の早期終息を祈願し解散した。

(追記)

今年の新年会もオミクロン株の市中感染が拡大しているため、中止となり残念な限り。

(記 松川 正廣)

(追記二)

祝詞奏上で「宇治の里山を守り育むフォレスターうじ会員の安全を祈念する」との請願が読み上げられたことを追記する。

(記 会長 深田 和夫)

一月臨時活動

シイタケ植菌用ホダ木の採取

活動日 一月十四日(金) 十時〜十二時半 曇
活動場所 広野中学校前土手
参加者 会員七名

二月定例活動日に予定しているシイタケ植菌体験のイベント用にホダ木を採取しました。気温三度と寒い中、会員七名が参集しました。

場所は広野中学校前の土手です。ホダ木にちょうど良いコナラの木がありました。ただ、すぐ上は道路のガードレール、下は川なので、木を倒す方向をしつかりコントロールしなければなりません。伸縮する長い棒を使って高い枝にロープをかけて倒す方向にある木に回し、倒れる時に違う方向には倒れないようにしました。チェーンソーで追いつく口を切るとうまく思った方向に倒れ、無事に二本伐倒できました。九十cmの長さに玉切りし、二十三本のホダ木を採取できました。

二月定例活動日のシイタケ植菌体験のイベントが楽しみです。寒い中参集いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

(記 林 幸広)



㊦ 1/14 採取したホダ木 23本



㊦ 1/14 チェンソーにて伐倒作業 (写真2枚共 新宮邦春)

一月臨時活動

「e.c.o.t.カフェ」でシイタケ植菌体験

活動日 一月二十三日(日) 十時〜十二時半 曇
活動場所 宇治市生涯学習センター
参加者 会員七名
来場者 大人八名 子供一名 ホダ木持帰り十四本

「我が社の地球温暖化対策取り組み」を(株)安全農産供給センター・まつい樹木メンテナンス(株)永谷木材の三社が講演された後、フォレストアージュが表記の体験会を行なった。

まずe.c.o.t.宇治とフォレストアージュの関係と植菌方法を説明した後、早速体験者が重たい電動ドリルを持ち、ホダ木(四十五cm)に穴を開けていた。幼い子供や女性・年配者には優しい当会員がお手伝い。その後、トレーに小分けされた駒菌を夢中で叩き込んでいた。打ち込みの終えられた方には会員が水やりや管理方法等を説明。僅か三十分間での作業だったので十分な対応が出来ず、バタバタしている間に終了していったという感じだった。

しかし最近のどんぐりプロジェクトや今回初めて取り組んだ植菌体験を通して感じたことは、自然に触れ合いたい!何らかの形で関わりを持ちたいと望んでいる方々が居られる。それらをどう発掘し、仲間として取り込んでいけるかが、今問われており、今後もこれらの活動を地道に取り組んで行きたいと思っています。参加頂いた会員の皆様お疲れ様でした。

(記・写真 新宮 邦春)

一緒に菌打ち体験中



今後の活動・行事の案内

令和四年三月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

- 三月特別活動
- 三月六日(日) 太陽が丘
- ・どんぐりプロジェクトの植樹
- 三月定例活動
- 三月二十日(日) 天ヶ瀬森林公園
- ・工具類の棚卸し、物置の移動整理

フォレストアージュからのお知らせ

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。新しい仲間を募集中、まずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千円
活動日 毎月第三日曜日
活動場所 天ヶ瀬森林公園

ホームページはこちらから←

森林ボランティア フォレストアージュ
事務局
宇治市折居台二丁目一―五
木曾 宗統 方
☎〇九〇―九二七〇―〇七六三



編集後記

天ヶ瀬森林公園以外での啓発活動が少ないこの頃、久しぶりにシイタケ植菌体験を屋内で実施した。地球温暖化対策の一環としてe.c.o.t.宇治とタイアップ。来場者の喜ぶ顔が嬉しかった。報告にあるよう、本会の活動につながると思います。

(会報担当 木曾 宗統)
(写真担当 林 幸広)